

かみかわ町議会だより



「池田の獅子舞」

池田の獅子舞は阿久津流といって高崎市山名近くの阿久津から300年ほど前に伝授されたといわれています。獅子は三頭で、他に花笠・カンカチ・笛方などの役割があります。秋祭りには地区の各所で舞った後、守神神社に奉納します。

- 平成24年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定など承認
- 平成25年度神川町一般会計補正予算(第3号)など補正予算を可決
- 名誉町民の決定についての同意など

第 **32** 号

平成25年12月1日発行

議会を傍聴しませんか

第6回定例会は12月5日(木) [午前9時~] 一般質問等から13日(金)を予定しています。

編集 神川町議会運営委員会
発行 埼玉県児玉郡神川町議会

〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909
☎0495(77)0707 <http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

定例会のあらまし

平成25年第5回神川町議会定例会は9月3日から13日までの11日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成24年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について、平成24年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について等の特別会計決算、平成25年度神川町一般会計補正予算などで決議1件、選挙1件、24議案、報告2件、議員派遣の件、閉会中の継続調査の併せて30件の案件が審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、9月3日に行われ、五名の議員が町長をはじめ町当局の考えを質問しました。概要は、次のとおりです。



廣川 学 議員

いきいきサロンについて

いきいきサロンに参加されている皆さんは笑顔で会話を楽しみ交流を図っています。全国では、ひとり暮らしの高齢者が熱中症で亡くなり、数日間発見されなかったという悲しい出来事もおきています。町ではそのような事がおきないように、また、閉じこもり予防のためにも

いきいきサロンを行うことは有効だと考えます。しかし、町の開催状況は12団体11行政区の開催となっています。何故、約半分の行政区でしか開催されないのか理由について伺います。また、いきいきサロンに対する町の考え方及び将来的にどのように進めようとしているのかお伺いします。

答え 町長

町では、平成15年に民生児童委員協議会の高齢者部会が中心となり、大字元阿保サロンからスタートし、現在12カ所で実施されております。昨年は、延べ3,000人の方の参加がありました。民生児童委員やOBの方、大字区長や大字役員、老人クラブ、赤十字奉仕団、ボランティアなど地域の皆さんにご協力をいただき運営されています。

このいきいきサロンは高齢者の生きがいや仲間づくり、閉じこもり防止、介護予防など自立と健康の増進を促し、さらには地域住民同士の支え合いの輪を広げ、地域福祉の活性化につながるものと期待しています。今後は、社会福祉協議会との連携を強化し、情報の

共有を図り、新たな福祉ニーズの発見と未実施地域の開催の促進、高齢者の移動が困難な山間地域では、数人で気軽に集まれるようなミニサロンの提案等、地域の実情に合わせ、さまざまな支援や情報提供をまいります。



いきいきサロン (池田)

出前授業について

私が考えていた出前授業は、現在、国の意向として重く考えられて

いるキャリア教育をメインに、「町長の仕事」とはといった授業をクラス単位で行うものでした。しかし、神川中学校で行われたのは、体育館で全校生徒を対象にしたものでした。町長の考えている出前授業の狙いを伺います。

そして、2学期に行われる小学校での出前授業は中学校と同じような方式で行うのか、それとも、違う形で行うのかも伺います。来年度以降の出前授業についてもお伺いします。

答え 町長

出前授業を計画した趣旨の1つは、町の未来を担う子供たちと対話をしたとを考えました。子供たちの率直な意見や感想を聞き、将来、町にどんなことを期待しているのか、どこを改善すれば、より魅力ある神川町になっていくかと考えたからです。

また、子供たちにもっと町のことを知ってもらい、好きになってもらい、これからの町で活躍できる人材になってほしいという思いから計画しました。

次に、これからの出前授業については、4つの小学校及び神泉中学校で2学期に計画されています。学校現場の意見を取り入れて、学年単位、複数の学年、全校で行う学校など学校規模によりさまざまです。授業内容の構想ですが、小学校では町の現状説明及び町の副

読本を活用しながら、意見交換を行おうと考えています。また、神泉中学校では、神川中学校で行った内容により実施いたします。町政にとっても子供たちにとってもお互い刺激になれるような出前授業にし、来年度も続けてまいりたいと思います。



出前授業 (神泉小)

学力向上について

今年度は指導主事を2人体制にして学力向上に尽力されていると思いますが、具体的にどのような取り組みを行っているのか伺います。今年の夏休みの宿題について、学校を調べてみたのですが、神川町では昨年と変わらない、あるいは少なくなっています。これで学力向上に向かっているのでしょうか。

近年、生徒たちの文章を読み取る力や、作文や日記などを書く力が低下(国語力が低下)していますが、これらの力をつけるには読書が一番です。読書は日々の積み重ねが大事で、一朝一夕にできません。そのためには、学校における宿題の役割というのとても大きいと考えます。町や教育委員会では、この宿題についてどのようにお考えなのかお伺いします。

答え 教育長

教育委員会では児童生徒の学力向上を目指し、今年度より指導主事を2人体制とし、次の取り組みを始めています。

1つ目は、学力向上推進委員会の活性化です。2つ目は、町内の小中学校の教員が一堂に研修を実施するオール神川研修会です。今年度は、8月28日に国語についての研修を行いました。3つ目は、授業研究会の充実です。町では、教員の授業力向上の観点から、1

人1研究授業を行っています。

次に、夏休み中の宿題について、中学校では豊かな心を育むために読書、絵画、研究などのふだんできない宿題が出されます。この他にも、国語、社会、数学、理科、英語の5教科の宿題が出ます。各学年の教科担任が生徒の状況を判断し、各担当の裁量で生徒に合った宿題を出しております。基本的には、1学期の復習が主な内容です。毎年各教科担任が以下の2点を考えて宿題を出しております。1点目は、生徒の家庭学習における自主性を育てることです。自分で今の課題を考えて、自分で学習

内容を精査し、計画を立てて行うため、宿題は少なめを意識して出してまいります。

2点目は、夏休みの宿題は勉強が嫌いな生徒にも頑張ろうと思える質と量にするということです。

基本的な問題を精選し、実際にチャレンジしたらできる問題を多く出して、反復練習、ドリル等の課題にしてまいります。今後も夏期休業の有意義な取り組みを考え、実践します。



落合周一 議員

神川町の読書教育について

平成18年に町が作成した、神川町子ども読書活動推進計画によると、青少年に対する図書サービスの充実や神川町の読書活動の推進、幼児期の読み聞かせ活動の推進、さらには町立図書館の設置の必要性を掲げてまいります。この計画が、どのように実践されてきたのかお伺いします。

次に、小中学校における読書教育がどのように現在行われているのか、また、今後、子供たちの健全育成、学力向上のため、図書予算を増加させ図書室の充実を図る考えはあるのか及び神川中学校の新しい図書室の計画について伺います。

次に、公民館、ふれあいセンター、ステラ神泉の図書室のあり方についてお伺いします。これらの図書室は、残念ながら図書館としての機能を果たしていません。大人向けの図書、文献は別の場所に集める、例えば閉校となる神泉中学校の教室を利用する案もあると思いますが併せてお伺いします。

答え 教育長

町では、神川町子ども読書活動推進計画を策定し、平成18年度から5カ年計画で子供の読書活動の推進に取り組んできました。今年度も引き続き各学校で発達段階に応じた読書活動を推進しております。具体的には、教師や地域ボランティアによる読み聞かせ活動、朝の読書タイム、図書委員会による図書の貸し出し、読書感想文コンクールへの参加、公立図書館との連携、教師による推薦本の紹介、給食時間中の放送や図書集会の実施などです。今後とも、読書への意欲喚起や読書の重要性の啓発を強化するとともに、小学校低学年の段階から読書の習慣化を図られるよう、一層の努力をいたします。

次に、学校における図書の蔵書については、毎年、子供たちに新しい本を提供するため小中学校の図書の充実を図っています。

神川中学校の図書室の整備計画は、可能な限り予算措置を行い、より魅力ある図書の蔵書に努め、読書教育の充実を図ります。

公民館の図書室では、平成19年度にふれあいセンター図書室とと

もに図書システムを導入し、図書の貸し出し、返却業務及び蔵書検索が速やかに行われ、利用者の利便性の向上を図りました。また、県内の図書館相互貸借利用により、利用者が必要とする図書をリクエスト用紙で予約をして、本を借りることができまます。一昨年度は、図書購入代として300万円を予算化し、3カ所の図書室の蔵書の充実を図りました。

また、図書室等の改修工事を行い、閲覧室の拡張や個別に学習できる机等を配置するなど、今まで以上に有効活用できるよう改善いたしました。



中央公民館ホール学習机

町長選挙について

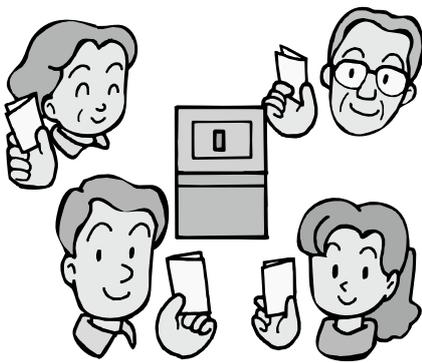
清水町政になつて3年と6カ月、高齢社会に向けての施策は、ある程度進展していますが、町の農業や商業の問題、工場誘致や働く場所の提供等、神川町の将来に向けてのビジョン、神川町の未来のあるべき姿がなかなか見えてきません。この3年間の町政を顧みて、神川町のあすをどのように変化発展させていくつもりなのか、また、出馬の意思があるかないか伺います。

答え 町長

町長就任以来3年半、何事にも全力で取り組むことを信条とし、住民目線で町政の運営を行つてまいりました。主な事業は、同和対策関連事業の全面廃止、事業仕分けの実施、公共施設の指定管理者への移行、給食センターの外部委託、中学3年生までのこども医療費の無料化や第3子の給食費無料化の実施、教育関係施設の耐震補強工事及び耐震診断の実施、神川中学校体育館建てかえ、神川中学校特別教室棟の建てかえ、高齢者見守り支援事業の実施、要支援者災害時受け入れ協定の締結、風疹予防接種や胃がんリスク検診、前立腺がん検診の実施、マスコットキャラクターの決定や日本自動車

連盟（JAF）包括協定の締結、防犯灯のLED化、女性消防団の発足などです。

これからもこれらの施策をより充実させ、時のニーズに合った施策を推進し、住民目線に立った町政の運営をするため、一層の努力をしてまいります。



デマンドタクシーについて



大川 喜和子議員

8月19日に地域公共交通会議が開かれ、運行されることになりましたが、9月に入りいまだに陸運局からの許可がおりていません。そのような状態で10月1日からの実証運行が可能なのでしょうか。

1カ月間で住民の方への利用条件、利用方法、手続の説明をどのようにしていくのか及びタクシー業者との契約上の支払い条件について伺います。

また、デマンドタクシー実証期間中の町営バス運行についてお伺いします。

答え 町長

既に道路運送法第21条第2号の期間限定の申請を関東運輸局に提出してあります。許可がおりてからの正式運行となりますので、10月からの開始は厳しい状況ですが、早く運行できるよう努めます。

デマンドタクシー試行期間中の町営バスの運行については、

町営バスは、民間路線バスの廃止による代替路線バスとして運行しております。子供の通学や観光客の移動手段として重要な役割を担っており、試行期間中も並行して運行する予定です。

答え 地域総務課長

住民への周知方法は、9月15日に回覧し、その後全戸配布します。

業者への支払い条件は、月曜から金曜日までの8時半から17時までの1日当たりの借り上げで、タクシー1台を神泉支所に常駐させる予定です。
費用の内容は、車両借上料、人件費、燃料費、修繕費、点検費、課税公課費、保険料などで、予約受け付けや運賃の徴収管理も業者にお問い合わせする予定です。



デマンドタクシー

お弁当の日について

町では、食育の一環として、年3回手づくり弁当の日を実施しています。弁当の日をつくった当初の目的は、子どもたちに献立づくりから買い物、調理、弁当箱詰め、後片づけまで、全て自分たちでしてもらい、子供のいきる力を育てることでした。また、親も見守ることで学ぶ、気づきがでてきたそうです。
今まで手づくり弁当の日に保護者がつくってくれたお弁当が、子供たちや保護者たちにどのような効果をもたらしてきたかをお伺いします。

答え 教育長

手づくり弁当の日は、平成11年度より親子のふれあいや温もりのある家庭づくりとともに、学校給

食費の値上げを抑え、安定を図ることを目的として、年3回実施しています。
幼稚園、小学校では、保護者の皆さんが作る愛情あふれるお弁当を食べることにより、感謝の心を学び、楽しみながら食について考

えることができる環境づくりが図られております。中学校では、生徒が創意工夫してお弁当をつくることにより料理の大変さ、栄養のバランスなど、食に対する意識の

高揚が図られております。
また、平成25年度から防災教育の一環として、子供が災害時ににぎりができるよう、年2回おにぎり給食の日を設けております。



赤羽 奈保子 議員

子ども子育て三法について

昨年、子ども・子育て3法が成立し、早ければ27年度から施行予定です。この法律により幼保連携型子ども園をはじめ、小規模保育や保育ママなどの家庭的な保育を含む多様な保育子育て支援が拡充されます。町ではどのように推進していくのか伺います。
地方版子ども・子育て会議の設置にあたり、現役のママたちを会議に参加させ、声をしっかりと聞き、子育て計画に反映させる予定はあるのか、また、事業策定に当たってのニーズ調査をどのように行っていくのかお伺いします。

答え 町長

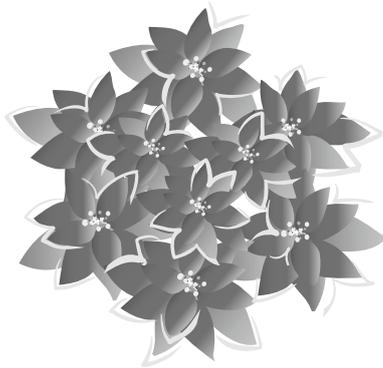
町では、国のスケジュールに合わせ、今年度中にニーズ調査をし、今後5年間の保育・教育・子育て

支援などの見込み量を3月に県へ報告します。来年度は、神川町子ども・子育て支援事業計画を策定し、平成27年度にスムーズな移行ができるよう進めます。
次に、地方版子ども・子育て会

議の設置は、法律上市町村の努力義務とされておりますが、子ども・子育て支援に関する施策の実施状況を調査、審議する等の重要な役割を担っています。町では現在、神川町保育連絡協議会があり、この協議会を母体として見直し、検討していきます。なお、現役ママの声も生かす予定です。

調査については、広くニーズを把握するため、保育が必要な子供だけでなく、幼稚園、放課後児童クラブも含めた790人の子供の世帯を対象として調査します。12月に結果を取りまとめ、来年度は計画素案を策定し、パブリック

コメントを実施するなど、広く町民皆様のご意見を伺いながら、町の実情に即した子ども・子育て支援事業計画を策定します。



骨髓ドナーへの支援について

公明党本庄支部では、平成22年から骨髓バンクのドナー登録を行い、今年までの4年間で54名の方に登録をしていただきました。

造血幹細胞移植という治療法は、患者さんと医療のほかに提供者というボランティアの方がいて初めて成立します。しかし、せっかくHLA型が適合しても、最終的に骨髓提供まで至らないケースが4割程度あるそうです。さまざまな疾患で提供できない場合もありますが、ドナーの通院や入院における休業補償がないなど、ドナーの負担が重たいことが挙げられます。

新潟県加茂市や島根県浜田市などは、独自にドナー助成制度を立ち上げていますが、町でも安心してドナーになっていただけるように、ドナーへの助成を行うべきだと考えますが、町の考えを伺います。

答え 町長

近年、骨髓移植を必要とする血液疾患の患者は年々増加傾向にあり、より多くの方がドナー登録されることと、移植につながる支援体制の充実が望まれています。

ドナーの確保につきましては、埼玉県赤十字血液センターが運営する8カ所の血液ルームに骨髓ドナー登録相談窓口が常設されています。町としましては、広報やホームページなどで積極的に啓発推進してまいります。

ドナーが骨髓を提供しやすい環境につきましては、介護高齢者がいる家庭には短期入所の活用、子育て中の方には、保育所の一時預りなど、各種福祉サービスの利用について、広く周知を図ります。

ドナーとして一般的な骨髓提供に当たり、2日間程度の入院と5日間ほどの通院が必要となることから、会社の理解を得にくい、収入が減るため仕事を休めないなどの課題があります。助成制度を進めている市町村もありますので、今後その利用実績や効果などについて、調査検討していきます。



渡辺浩一 議員

子宮頸がんワクチンについて

平成21年人口動態統計（厚労省）によると、子宮頸がんのピークは55歳から80歳までで、この間に1,457人の死亡者が出ています。すなわちこのワクチンは、中学生に接種しても20歳前後でそのワクチ

ンの効果が薄れてしまい、ピークに届くまでには、その効果が働かないわけです。

ワクチン接種により健康被害があった場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が補償金を支払うことになっています。しかし、このワクチンに関しては、因果関係の解明がまだされていないため、支払われていない状況です。補償体制を整えてからワクチン接種をさせるべきです。

また、全国では20歳から29歳までに24人の方が死亡していますが、この方たちの、生活習慣あるいは栄養状態などもあわせて考えてみる必要があります。子宮頸がんにかからないための生活を若い人たちに教育しなければならぬと思います。それによってのがんによる死亡者をかなり減らせるはずですが、

子宮頸がんはそれほど流行していないため、ワクチン接種は不要不急であるので、中止にするべきだと思いますが伺います。

答え 町長

日本人の死亡原因の第1位であるがんに対する施策の充実が町の喫緊の課題であり、今後ともがんで亡くなる人が一人でも少なくなるよう、がん対策を推進していくことが重要です。

子宮頸がんは、全国で年間9,000人が発症し、毎年2,700人を超える方が亡くなっており、年代別の発症率は、20代から30代で増加し、40代以降横ばい

となり、女性で乳がんが次に次ぐ発症率です。近年では若い人の罹患も増加していることを受け、子宮頸がん予防ワクチン接種が任意接種として平成21年12月から始まりました。

平成25年4月からは、小学校6年生から高校1年生相当の女子を対象に予防接種法による法定接種が開始されました。しかし、接種後に体の痛みや歩行障害などの重い副作用があらわれた事例も一部で見られ、国では国民に適切な情報提供ができるまでの間、積極的な個別通知や広報等はすべきでは

ないとなりました。

受ける場合には、ワクチン接種の有効性及び安全性について十分に説明し、接種することを周知しました。

なお、子宮頸がんワクチンの接

種は、予防接種法の法定接種であり、町の判断として中止することは難しいわけですが、今後の厚生労働省の調査や専門家による評価などの動向を注視したいと考えています。

神流川に橋を架ける計画について

約20年前から、ゆーゆーランドと対岸の藤岡市に橋をかけてほしいという要望がありました。藤武橋は朝夕の通勤時間帯や行楽シーズン、日曜の夕方などかなり混み合い、そこを通過するのに時間がかかりました。

神川町から隣の藤岡市に救急搬送される場合には、そのような混み合ったところを通過しなければなりません。

そこで、かんなの湯と対岸の藤岡市までの橋建設の計画を急いでほしいと思いますが、計画の状況を伺います。

また、その橋につながる道路建設について藤岡市では県に要請をしているようですが、神川町の対応について伺います。

答え 町長

新橋の計画は、平成9年から一般質問や地元の情報・要望があり、町としても国道254号藤武橋の渋滞解消やゆーゆーランドへのア

クセス向上のみならず、将来当町の産業経済等の発展に対し、重要な位置づけとなる幹線道路として考えています。そのため、関係機関との研究会等事務レベルでの打ち合わせをこれまでに17回開催し、新橋建設の効果、可能性、諸問題

などを検討しております。
また、平成14年度の埼玉県知事への要望活動をはじめとして、平成24年度には埼玉県町村会を通じて要望書を提出するなど、多方面にも必要性を訴えかけています。今後も藤岡市並びに本庄市と綿密に調整を行い、早期実現に向け関係機関への働きかけを行っていきます。



藤 武 橋

※一般質問の全文は、議会事務局にある会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。

議案審議の結果

九月定例会は、平成二十四年度一般会計や特別会計決算、平成二十五年度の一般会計及び特別会計の補正予算、条例の改正などが審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

予算関係

◎平成二十五年度神川町一般会計補正予算(第三号)

歳入歳出それぞれ二、六〇二万七千円を減額し、総額を五億四八二万円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

国庫支出金 一六五万円

県支出金 一四五万二千元

繰入金 ▲三、七三二万一千円

諸収入 八一九万二千元

○歳出に追加された主な項目

〈議会費〉 三八万三千元

〈総務費〉 ▲二、二七九万六千元

〈民生費〉

▲一、〇五二万一千円

〈衛生費〉 八五三万九千元
〈農林水産業費〉 ▲一、七七六万五千元

〈商工費〉 八〇七万七千元

〈土木費〉 ▲三〇三万四千元

〈消防費〉 七三万五千元

〈教育費〉 一、〇三五万五千元

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎平成二十五年度神川町一般会計補正予算(第四号)(追加提案)

歳入歳出それぞれ四五万円を追加し、総額を五億五二七万円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 四五万円

○歳出に追加された主な項目

〈総務費〉 四五万円

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎平成二十五年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

事業勘定の歳入歳出それぞれ二、〇五八万円追加し、総額を一七億一、〇五八万円とし、施設勘定の歳入歳出それぞれ、二万一千円を追加し、総額を一億二、九七二万二千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

療養給付費交付金 六四五万二千元

【事業勘定】

○歳入に追加された主な項目

繰入金

繰越金 一、五三六万六千元

○歳出に追加された主な項目

総務費 ▲一二三万八千元

保険給付費 六四五万二千元

諸支出金 一、五三六万六千元

○歳入に追加された項目
繰越金 二万一千円

○歳出に追加された項目
総務費 二万一千円

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎平成二十五年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出それぞれ、二八〇万円減額し、総額を一億一、二五八万六千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 ▲三四六万四千元

繰越金 六六万四千元

○歳出に追加された主な項目

総務費 ▲二八〇万円

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎平成二十五年度神川町介護保険特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出それぞれ、二、七八〇万一千円追加し、総額を九億三、三八八万円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金

繰越金 一、五三六万六千元

○歳出に追加された主な項目

総務費 ▲一二三万八千元

保険給付費 六四五万二千元

諸支出金 一、五三六万六千元

○歳入に追加された主な項目

療養給付費交付金 六四五万二千元

繰入金 九万円
繰越金 二,七七二万一千円
○歳出に追加された主な項目
総務費 九万円
基金積立金 八九七万三千元
諸支出金 一,八七三万八千元
〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成二十五年度神川町町営バス事業特別会計補正予算(第一号)
歳入歳出それぞれ、五万三千元追加し、総額を一,二三五万一千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 ▲九四万円
繰越金 九九万三千元

○歳出に追加された主な項目

事業費 五万三千元

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成二十五年度神川町観光事業特別会計補正予算(第一号)
歳入歳出それぞれ、二二一万四千円追加し、総額を五,二四三万四千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 一六四万一千円
繰越金 四七万三千元

○歳出に追加された主な項目

事業費 二二一万四千円
〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成二十五年度神川町公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)
歳入歳出それぞれ、一三九万七千円追加し、総額を二億一,五〇六万五千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 ▲三二五万四千元
繰越金 四六五万一千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 五九万七千元
事業費 八〇万円

公債費 ○円(財源内訳変更)

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成二十五年度神川町水道事業会計補正予算(第一号)
収益的支出(予算第3条)で二五

六万九千円を減額し、予算累計額を二億九,五〇一万円とするもの。
○支出で増額された項目

営業費用 ▲二五六万九千元

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

決算関係

○平成24年度神川町一般会計歳入

歳出決算の認定について
歳入総額五六億八,五六八万

千円、歳出総額五二億四,九〇三万五千円の決算を認定するもの。
詳しくは「広報かみかわ十月号」をご覧ください。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成24年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
事業勘定は、歳入総額十七億二,九〇六万七千円、歳出総額一六億二,一九九万七千円、施設勘定では、歳入総額一億三,一一九万七千円、歳出総額一億二,〇五一万八千円の決算を認定するもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成24年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入総額一億一,一七七万五千円、歳出総額一億一,一一一万一千円の決算を認定するもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成24年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入総額九億二二二万一千円、歳出総額八億七,四四一万円の決算を認定するもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成24年度神川町住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入総額一七一万四千円、歳出総額七一万一千円の決算を認定するもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成24年度神川町町営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入総額一,七五六万六千円、歳出総額一,六五七万三千円の決算を認定するもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成24年度神川町観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入総額一億二,二九四万八千円、歳出総額九,五〇五万九千円の決算を認定するもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

○平成24年度神川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入総額一億七,八二二万七千円、歳出総額一億七,二〇八万七千円の決算を認定するもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

報告

◎平成24年度神川町水道事業会計歳入歳出決算の認定について
事業収益が二億九、一八八万円、事業費用が二億八、二二七万七千円、資本的収入が、五二五万円、資本的支出が一億二、八八三万六千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎平成24年度神川町健全化判断比率について

◎平成24年度神川町資金不足比率について

条例等

◎前議会議員岸優君逝去に対する哀悼の決議

前議会議員岸優君逝去に対する哀悼の決議。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎名誉町民の決定につき同意を求めることについて
永きにわたり、町行政の発展のために多大なる貢献のある田村啓氏を名誉町民に決定。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎議会運営委員の選任について

欠員であった議会運営委員に山崎正弘君を選任。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎議員派遣の件

地方自治法第一〇〇条第一三号及び神川町会議規則第一二二条の規定により、議員を派遣する。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎神川町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例

公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律に基づき、公益的法人等へ職員を派遣する制度を整備するため制定する。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎神川町職員の給与に関する条例

の一部を改正する条例
医療職給料表(3)の適用を受け

る職員の変更により、所要の改正を行う。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎神川町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎町道路線の認定について

取付道路の寄附により、植竹字久保東地内の道路を認定する。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決



「神川の歴史」について 議員研修会開かれる

十月一日(火)、中央公民館にて議員研修会が開かれました。研修会では「徳川家康の関東入国と菅沼定盈」と題して前神泉村教育長の長谷川典明氏から講演がありました。お話は、徳川家康の家来であった菅沼定盈が現在の元阿保に住んでいたのではないかという史実を様々な文献から推測する興味深いお話でした。この他にも鎌倉街道や木村九蔵氏、原家の養蚕工場といった神川に縁の深いお話がありました。



「神川の歴史」研修会

県下の町村議員研修会
開かれる

十月十八日、吉見町文化会館「フレサよしみ」に埼玉県内の町村議会議員が集まり、研修会が開かれました。研修会では地域の宝「ご当地グルメ」でふるさとを元気に！と題してご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会本部専務理事兼事務局長の俵慎一氏から講演がありました。講演では、グルメイベントの目的は1商品の販売促進や利益追求ではなく、また、年間通して地元可愛され、それが全国に広まりまちおこしに繋がるというお話や料理への表彰でない団体への表彰である等興味深いものでした。



町村議会議員研修

議会日誌

7月



- 1日 全員協議会
- 4日 酪農組合連合会総会
- 16日 コミュニティ協議会総会
- 20日 夏の交通事故防止運動街頭キャンペーン
- 25日 いろいろの友納涼祭
- 27日 植竹サマーフェスティバル
- 27日 ルピナス神川「サマーフェスティバル」

8月



- 1日 全員協議会
- 2日 丹荘保育所夏祭り
- 5日～6日 広域圏議会(行政視察 (岐阜県))

9月



- 7日 神泉中学校校舎等検討委員会
- 9日 青柳保育所夏祭り
- 14日 神泉地区納涼祭
- 17日 事故なしキャンペーン
- 19日 梨連合会共進会
- 22日 町国保運営協議会
- 23日 議会運営委員会
- 24日 八日市納涼祭
- 28日 神流川沿岸地域国営事業等促進協議会総会
- 30日 全員協議会

- 3日 第5回定例議会(一般質問)
- 4日 第5回定例議会(決算説明)
- 6日 文教厚生常任委員会
- 12日 第5回定例議会(決算質疑、採決)
- 13日 第5回定例議会(条例、補正予算等質疑採決)
- 15日 神川中吹奏楽部演奏会
- 19日 神泉中学校校舎等検討委員会
- 20日 議員政策研修会(埼玉県議会)
- 21日 秋の交通安全運動街頭キャンペーン
- 25日 広域圏議会
- 28日 運動会(丹荘小学校、青柳小学校、渡瀬小学校、神泉小学校)

表紙の
写真について

今回は約三百年前から伝統行事として毎年春、秋に行われている「池田獅子舞」を掲載しました。今後の表紙写真は、地域のお祭りやイベントを掲載することになりました。皆様にはご提案等ありがとうございました。



● 写真提供者
(池田獅子舞)

フォーカス友の会
山口 光 江様
赤石 千三 お子様
舟山 俊 策様
カウ子様